

第5回 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験協議会 議事要旨

1. 開催日時：令和7年12月10日（水）10：00～11：00

2. 開催場所：国土交通省 近畿地方整備局 6階

3. 出席者：国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 事務所長<会長>

　　大阪府警本部 交通部 交通規制課 計画担当管理官（代理出席）

　　大阪市 環境局 環境施策部 環境施策課 課長（WEB出席）

　　大阪市 計画調整局 計画部 交通政策課 課長

　　大阪市 建設局 総務部 管理課 課長

　　国土交通省 近畿地方整備局 道路部 路政課 課長

　　国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長

　　梅田2丁目振興町会 会長（代理出席）

　　西阪神桜橋商店会 会長

　　東天満1・2丁目振興町会 会長

　　タイムズモビリティ株式会社 取締役 専務執行役員

　　タイムズプラットフォームサービス推進本部長

　　タイムズモビリティ株式会社 タイムズプラットフォームサービス推進本部

　　タイムズプラットフォームサービス営業部 次長

欠席者：福島連合振興町会 会長

4. 議事

（1）協議会規約改正

（2）社会実験内容

（3）社会実験の延長・効果検証計画（案）

（4）今後の予定

5. 議事要旨

○協議会規約改正

- ・実験参加者の所属部署名の変更に伴う規約改正が承認された。

○社会実験内容

- ・令和6年10月から開始された社会実験について、概要を説明した。

- ・実験期間中の運用の変更点、ラッピング撤去に関して報告を行った。

【主な意見】

- ・EVカーシェアリングの利用実績を分析したところ、充電残量が空の状態で返却されるケースがほとんどないこと、また想定よりも短い時間で充電ができていることから、最大充電時間を短縮した。また、長時間でもカーシェアリングを利用される方が増え

ており、長時間でも短時間でも利用料金に大幅な差が出ないように、料金体系を変更した。どちらも、本社会実験のみでなく、全社的な変更である。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】

- ・ ミヤクミヤクのラッピングをしたことで、効果は見られたのか？【国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課長】
⇒ミヤクミヤクのラッピングをした車両を見たという声もいただいており、大阪・関西万博のPRという意味で効果があったと思っている。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】
⇒ミヤクミヤクのラッピング期間中はラッピングに関するアンケートを実施しており、結果は次回協議会で示させていただく。【事務局】

○社会実験の延長・効果検証計画（案）

- ・ 事務局より、「災害時（鉄道運休時（大規模）のタクシー利用の代替手段）の活用」の検証サンプル確保のため、社会実験期間を令和9年3月末まで延長することが提案され、委員より了承を得た。

【主な意見】

- ・ 鉄道とEV路上カーシェアリングを組み合わせた利用の促進を図ることが、重要であるため、引き続き、鉄道事業者との連携した利用促進を行っていただきたい。
⇒鉄道とEV路上カーシェアリングを組み合わせた利用を促進するため、鉄道事業者との連携について引き続き調整していく。鉄道事業者も、鉄道とEV路上カーシェアリングとの連携に関心を持っていただいていると感じている。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】

○今後の予定

- ・ 社会実験を令和9年3月末まで延長すること、令和8年2月に予定している第6回協議会では、令和7年12月末までの社会実験（I期）の効果検証の報告を行うことを共有した。

以上